

## 令和5年度 文化財防災訓練等実施状況報告

都道府県名  
大分県（日出町）

行事名称	第70回文化財防火デー日出町文化財防火訓練
実施期間・日時	令和6年1月20日（土）9時40分～11時00分
実施場所	住吉神社（大分県速見郡日出町大字大神）
主催者	日出町教育委員会社会教育課、日出町総務課危機管理室、杵築速見消防組合日出消防署、日出町消防団

## ■実施内容

## 訓練の想定

令和6年1月20日（土）午前10時00分、住吉神社境内裏の樹木に落雷し出火。境内には、回天神社、恵比須金刀比羅神社も併設されており類焼の恐れがあると想定し、神社総代による通報訓練、重要物品持出訓練を実施。また、実際の消火活動を想定した日出消防署・地元日出町消防団による放水訓練は、神社麓の直近消火栓より取水し消火訓練を行った。

## 訓練の内容

9時40分～	全体開会 訓練説明
10時00分～	119番通報、重要物品持出訓練、 放水訓練
10時45分～	訓練閉式 町長あいさつ、文化財保護委員長講評 閉会

## 参加者及び役割分担

住吉神社総代	（3名）：119番通報、重要物品持出訓練
日出町消防団	（約15名）：放水訓練
日出消防署	（約6名）：放水訓練
日出町文化財保護委員会	（5名）：現場立会（訓練立会）、講評
日出町議会議員	（4名）：現場立会（訓練来賓）
地元区長・住民、氏子総代	（約10名）：現場立会（訓練見学）
日出町役場・日出町教委員会	（8名）：現場立会（訓練統括）

## 特に工夫した点

会場を含め、周辺には、登録文化財「佐藤家住宅離れ」の他、現存する唯一の風待ち茶屋である「日出藩御茶屋襟江亭」、大神回天訓練基地跡等の文化財が点在する地域であるため、訓練説明時の際に行政・消防・所有者・地元住民が連携・協力し、地域への関心を持ち、火災などの災害に備えることが文化財防災につながることを説明し意識向上を図った。

## 問題点・課題

昨年の課題に注意し、通報から指令室への指令系統の改善があつたが、119番通報訓練の際に、事前想定していた確認事項と異なることがあつたため、訓練参加者を困惑させる事態が生じた。また、通報時間も長びく結果となり、消防車の出勤・到着時間も遅れが生じた。会場までの道に急坂があり、消防車両のタイヤが空転したため、一時上がり切らない状況となった。被害を最小限に抑えるためにも、迅速な通報・出勤・消火が求められる。各円滑に各訓練が実施できるよう、通報時の確認事項等の共有といった詳細部分も徹底することを要する。この他に、火元を社務所裏に設定したため建物で放水訓練の様子が遮られてしまい、見学側からは殆ど見えない状況となっていた。消防ホースの導線に配慮しつつ消化点と見学する位置についても考慮が必要だった。

## その他

当初は地元住民を対象とした水消火器による、初期消火訓練を実施する予定であったが、天候不調のため、この訓練のみ中止とした。

訓練風景



重要物品持出訓練



放水訓練 (消防署)



放水訓練 (消防団)



鎮火報告・整列



町長あいさつ



日出町文化財保護委員長講評